

公民連携対話窓口「コラボ・ラボ桑名」提案の実績報告 ～桑名駅西土地区画整理事業「中断移転住宅整備業務」～

◎ 経緯

公民連携対話窓口「コラボ・ラボ桑名」で桑名駅西土地区画整理事業整備促進のため、「中断移転住宅」建設の募集

「コラボ・ラボ桑名 テーマ型提案」とは・・・

桑名市が抱える特定の行政課題に対して民間事業者から提案をいただく制度

中断移転住宅とは・・・

移転対象者が一時的に仮住まいを行う住宅。玉突き移転で行われてきた駅西土地区画整理事業において、一度に一定戸数の住宅を確保することで移転先（仮換地）の整備促進が図られる

◎ 共同応募者提案【大和リース株式会社 三重支店代表】

	市直営の場合	共同応募者の提案 〔大和リース株式会社 三重支店 大和ハウス工業株式会社 四日市支社 大和リビング株式会社 東海支店〕
建築手法	RC造（15年使用想定） 10戸	軽量鉄骨造（15年使用） 10戸 ※利用者の意向により柔軟な対応可能
完成予定	平成30年度末	平成29年度末
建物所有	市	大和リース株式会社三重支店 （リース方式）
15年後 （事業完了後）	中断移転住宅業務が完了した後も市が財産として所有	①解体撤去 ②契約継続 ③市が財産として所有、の選択肢から選択可能
事業費	321,208千円	287,640千円
事業費内容	設計費、建築費、維持管理費、解体費、人件費	借上料（15年間）

◎ 市直営と比較して

- ☆ 約 33,500 千円（総額）削減！
- ☆ 工期を約 1 年短縮！
- ☆ 移転対象者の移転が早期に！
- ☆ 15 年後の住宅活用の選択が可能に！
- ☆ 土地区画整理事業の整備促進！

